

多文化を	ささえ	人びと
ささえ	える	

# 「チョーデー」ってどんなところ?!

## 東京にある朝鮮大学校スケッチ

「チョーデー（朝大）」と聞いてわかる人はまずいまい。東京都小平市にある朝鮮大学校（チヨソンデハッキョ）の略称である。ここでは、日本社会にほとんど知られていない朝鮮大学校とそこに暮らす学生たちの生活をわたし自身の体験をもとに簡単に紹介したい。

している。

晴れた日、寮の屋上から見えた富士山の美しきことよ!

### 朝大生の一日

午前七時一〇分、学部ごとに集まってるの体操で一日がはじまる。その後、食堂にて朝食があり、学部の学科ごとの朝の集いが続く。八時五〇分、授業開始。講義はもちろん朝鮮語である。一授業八〇分で休み時間は一〇分、昼食はめいめい授業の合間に行く。ポリウムが半端ではない。巨大なボールに入ったご飯とキムチと納豆はお替り自由。ホルモン煮込みはじつにマシッソヨ（おいしい）! 二時過ぎから始まる午後の授業は睡魔との戦いだ。授業が終われば自由時間で外出もOK。バイトに行く者、遊びに行く者、部活に打ち込む者、フットサルに興じる



関東の大学では強豪として有名な朝鮮大学校サッカー部(提供・陳天璽)

者もいる。当時、コインシャワーは女子専用、羨ましかった。食後は自室の掃除。わたしの部屋は二段ベッドの六人部屋だった。その後、一〇時三〇分まで自習時間。部屋に沈黙が流れる。それが終わると一日のしめの集いがあり、その後は自由時間である。寝ようが友だちと遊ぼうが恋人と会おうが個人の勝手。構内の公衆電話に毎晩長蛇の列をなしていたのも今はむかし。

### 朝大の一年

入学式・始業式は毎年四月一日である。五月下旬に体育祭があり、目玉の「棒倒し」は「喧嘩祭り」どころではない。夏休みは七月末から九月初めまでで日本の大学と変わらない。一〇月に前期試験と学園祭があり、一月末には学科別研究討論会がある。朝大生と日本の大学に通う朝鮮人学生ら



正門から見える講義棟は1959年に建設

が一堂に会しての学術大会である。同時に夜を徹しての「朝まで討論会」。コーヒーを飲みすぎて寝付けなくなる。そして冬休み、一月中旬に成人式、二月に後期試験があり、三月一〇日の卒業式とその後の終業式で一年が終わる。そのほか、朝鮮学校や朝鮮新報社を初めとした在日朝鮮人総聯合会（略称 総聯）傘下の機関での実習や学部ごとの研修、そして、朝鮮民主主義人民共和国（以下 朝鮮）での祖国研修もある。ピョンヤンの町で道行く人たちから、現地の方言

で「ベツシナ?（いま何時?）」と声をかけられたのが懐かしい。朝大、ちょっと硬いおはなし

朝鮮大学校は総聯傘下の大学である。朝大のほかには日本各地に朝鮮学校があり、幼稚園に当たる幼稚班、小学校に当たる初級学校、中学校に当たる中級学校、高等学校に当たる高級学校など、六九校にも上る。その頂点にあるのが朝鮮大学校だ。朝大は一九五六年四月に設立され、朝鮮政府からの教育援助費をもとに教職員・学生・朝鮮人有志らが工具を手に朝大を建設した。朝大の教員らは朝鮮国家科学院などの論文審査をパスして学位をもっており、朝鮮政府は朝大を朝鮮国内の大学と同様に扱っている。

朝大は教育目標として、「在日朝鮮人の生活と権利を守る」とともに、分断された祖国の統一と繁栄に寄与する人材を育成すること」を掲げており、卒業生には、朝鮮学校の教員や総聯の活動家、総聯系商工団体の職員や朝鮮人企業に携わる人も多い。近年は、ノン



祖国研修のとき、ピョンヤンの学生少年宮で見た朝鮮の子どもの公演



朝鮮語学のテキストのひとつ『語文学資料集』



筆者が教育実習で担当した朝鮮学校の子どものたち

の受け入れ要件を緩和したことも影響している。「朝鮮人だから」という義務感から朝大を選ばず時代ではなくなつたといえよう。これからは、朝大が「魅力ある大学・学びたいことが学べる大学」と評価されるような、特色を生かした「ブランド作り」が必要なのかもしれない。朝大のもつ人材と資源を活用すれば、たとえば朝大が在外朝鮮人研究の世界的な拠点となることも夢ではなからう。「在日同胞社会の朝大」から「世界の朝大」への変身を願つてやまない。